

◆公共施設耐震改修実施へ

問 市内、小中学校、保育園の耐震診断の実施状況と耐震改修の実施状況は。(今井)

答 大門、片丘北部両保育園の園舎を19年度から、広丘・吉田小学校の校舎を20年度から段階的に耐震改修する。

◆市役所本庁舎の耐震診断は
問 本年度実施しているが結果はいつ出るか。(今井)

答 10月末に診断結果が出る。対応が必要な場合は多角的に研究したい。

◆小坂田公園の活用

問 小坂田公園防災拠点工事について。(五味)

答 国土交通省の直轄事業として太陽電池付街路灯7基と庭園灯4基を設置し、災害時必要な資機材を備蓄する倉庫を設置する計画である。

早期に

AED設置

を望む

◆AEDの設置

問 AED(自動体外式除細動器)の設置状況と今後の計画はどうか。(太田)

答 市内公共施設には保健福祉センター、レザンホール、市営球場など7箇所を設置済み。今後は学校現場においても活発なスポーツ活動が行われているので市内15校に順次設置する。

◆AEDの設置と有効活用を
問 子どもの命を守るために全小中学校へAEDを設置する予定はどうか。(山口)

答 心疾患の児童数などの緊急度の高い所から予定をしていく。

問 119番通報者の位置が即座に分かる「発信地表示システム」にAEDの所在地を入力し、救命率の向上を図るため広域消防に活用を望むが。(山口)

答 市内公共施設と、民間施設で合計21箇所あり、関係機関等からの情報提供により掌握している。又有効活用のため、松本広域消防局との連携をとり研究を要望していく。

高齢者の

医療の

今後

◆後期高齢者医療制度の対策は

後期高齢者医療制度が平

成19年4月に始まるが、対象者は何人か。制度の周知徹底はどのように行うか。(柴田)

答 対象者は、75歳以上の人が7千394人、65歳以上で障害等をお持ちで対象になる人が444人である。11月に広域連合議会にて保険料が決まり次第、対象になる全世帯に通知する。広報等でもお知らせしていく。

◆高齢者に適切な医療を

問 後期高齢者医療制度の周知徹底と新型老健施設の充実を。(永井)

答 平成20年4月から75歳以上を対象に、医療保険制度が創設され、保険料は、広域連合議会にて定め、原則、年金から天引き、軽減措置もあり、制度の内容は、国保加入の全世帯に知らせる。(仮称)医療機能強化型老健施設は、療養病床のある病院等と連携を図り、支援に繋がる努力をする。

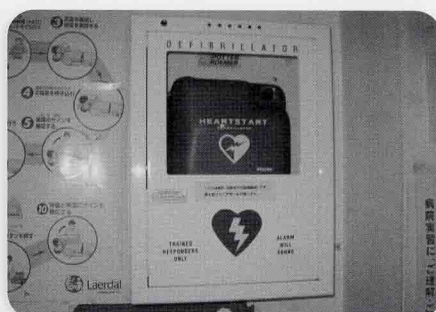
◆松本病院産科休止の対応は

問 国立病院機構松本病院の産科は8月末で休止となったが塩尻市民にとって中核病院であり、出産を控えている女性に不安が広がっているが、市としての対応は。(今井)

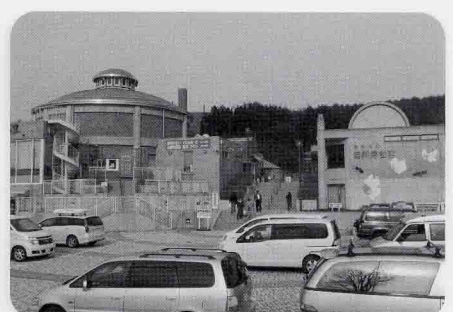
答 現在松本病院では、産科医師の確保を最重要課題とし



後期高齢者医療制度の窓口
(市役所1階 市民課)



市立体育館に設置されている
AED(自動体外式除細動器)



災害用の資機材備蓄倉庫の設置を
小坂田公園に計画